

## 外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

## 1. 基本情報

平成25年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 會津八一記念館		
所在地	新潟市中央区西船見町5932番地561		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 高橋 道映	電話番号	025-222-7612
		ホームページ	<a href="http://aizuyaichi.or.jp/">http://aizuyaichi.or.jp/</a>
市所管課	文化政策課	電子メール	
基本財産 (基本金)	201,700 千円	設立年月日	昭和47年 5月 8日 (平成22年12月22日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	100,000 千円	49.6 %
	株式会社新潟日報社	2,400 千円	1.2 %
	株式会社新潟放送	2,400 千円	1.2 %
	株式会社本間組	2,400 千円	1.2 %
	株式会社福田組	2,400 千円	1.2 %
	その他	92,100 千円	45.7 %
設立目的	會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の交流に資すること。		
経営理念 経営方針	會津八一に関する調査研究、諸展覧の開催、諸種講演会、研究会の開催および印刷物の刊行、記念館の管理、その他法人の目的を達成するために必要な事業を遂行する。		

## 2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
會津八一記念館管理運営事業			會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資することを目的に、會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示(業務仕様書より)する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
公益事業	受託事業	支出額	千円	31,879	32,132	34,678	35,560
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間入館者数		計画	人		7,900	7,900	7,900
		実績		7,064	7,560	15,545	
年間入館料		計画	千円			2,800	2,800
		実績		2,507	2,671	交換展3,427・常設展1610	

事業名 ②			事業概要				
特別展自主事業			金閣・銀閣をもつ相国寺内の承天閣美術館と当館との交換展を、新潟市と京都市で同時期開催した。新潟市では「若冲・応挙」展を市歴博と当館の2会場で開催し、総入館者数3万713人を記録した。他方、京都では「最後の文人 會津八一」展を開催、総入館者6,301人を達成した。この交換展が同年度末に「新潟市・京都市観光文化交流宣言」を京都二条城で調印する成果を挙げた。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	3,134	5,279	3,854	5,071
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入館者数		計画	人		3,000	3,000	3,000
		実績		2,216	3,961	10,973	

事業名 ③			事業概要				
文芸講演会事業			交換展では実行委員会主催で3回、京都でも3回開催し、有馬頼底師、佐々木丞平氏、冷泉為人氏等が講演した。八一祭、企画展関連の講演会では山田法胤師(薬師寺貫主)はじめ千田稔氏(奈良県立図書情報館館長)、説田晃大氏(奈良市写真美術館学芸員)、北嶋藤郷氏(敬和学園大学名誉教授)が會津八一と奈良や入江泰吉、養女きい子等企画展のテーマに沿った講演をした。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	964	580	564	530
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開催数		計画	契約		10	10	10
		実績		21	11	10	
聴講者数		計画	契約		1,520	1,500	1,500
		実績		4,044	1,438	2,036	

事業名 ④			事業概要				
販売事業			會津八一の作品の複製、歌集、研究書のほかレターセット、絵はがきなどの関連グッズを通じて記念館の思い出とし、リピーターを拡大させる一方、財団の自主財源を確保している。24年度は、八一が「愚」「鈍」「遅」など人間の欠点を表す文字を一文字ずつ書き入れた小皿の複製を「修行の皿」として発売。また、八一と芸術家らとのはがきや封書のやり取りをまとめた往復書簡集「雁魚來往」を発売した。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
収益事業	自主事業	支出額	千円	5,115	3,409	2,732	1,300
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間販売額		計画	円	4,000	3,200	4,000	3,300
		実績		6,961	4,968	3,415	

事業名 ⑤			事業概要				
普及活動事業			會津八一の知名度の復興のため、毎年「會津八一の歌を映す」写真コンテストを開催し、歌と映像とを融合する新しい芸術分野を開拓。第6回の24年度は、県内外から69人115点の応募があった。また、館長、学芸員の出前講演会・講座への要請は相変わらず多く、さらに増加している。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	6,320	2,321	2,399	2,450
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
「八一の歌を映す」写真コンテスト応募点数		計画	点		90	100	100
		実績		63	115	115	
館長・学芸員の出前講演会、講座回数		計画	回			5	10
		実績		13	9	20	

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
役員数	9	10	10	10
常勤	0	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員		1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	9	9
市兼任	3	3	3	3
市職員OB				
他団体兼任	6	6	6	6
その他				
職員数	5	5	5	5
常勤	3	3	3	3
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	3	3	3	3
他団体からの派遣				
非常勤	2	2	2	2
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
職員の状況	管理職	0	2	2	2
	一般職	3	3	3	3
	合計	3	5	5	5
年齢構成	20代以下	0	0		
	30代	2	2	2	2
	40代	0	0		
	50代	1	1	1	1
	60代以上	0	2	2	2
	合計	3	5	5	5

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度予算	平成25年度予算
報酬・給与等	17,113	17,907	19,584	20,126
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	17,113	17,907	19,584	20,126
常勤	11,964	11,708	12,384	12,926
内 市職員分				
非常勤	5,149	6,199	7,200	7,200
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	3,988	3,903	4,128	4,308
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般正味財産増減の部	経常収益	56,282	44,805	45,670
	基本財産運用益	3,346	3,334	3,327
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	48,745	38,408	39,481
	自主事業収益	16,866	7,806	6,455
	受託事業収益	31,879	30,602	33,026
	受取補助金等・負担金			
	その他経常収益	4,191	3,063	2,862
	経常費用	53,974	47,569	46,454
	事業費	48,283	42,862	43,756
	公益目的事業費	48,283	32,942	33,965
	収益目的事業費		5,610	5,089
	(自主事業費)	15,503		
	(受託事業費)	32,780		
	法人会計		4,310	4,702
	管理費	5,691	4,707	2,698
	評価損益等調整前当期経常増減額	2,308	▲ 2,764	▲ 784
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	2,308	▲ 2,764	▲ 784	
経常外収益			8,308	
経常外費用		70	1,641	
当期経常外増減額	0	▲ 70	6,667	
当期一般正味財産増減額	2,308	▲ 2,834	5,883	
一般正味財産期首残高	32,690	34,997	32,163	
一般正味財産期末残高	34,998	32,163	38,046	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金	0	0	
	その他	3,346	3,352	3,333
	基本財産評価損益	18		
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 3,346	▲ 3,334	▲ 73
	当期指定正味財産増減額	18	18	3,260
指定正味財産期首残高	198,428	198,446	198,465	
指定正味財産期末残高	198,446	198,464	201,725	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高		233,444	230,627	239,771

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	19,551	20,609	19,584
役員分			
職員分	19,551	20,609	19,584

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
資産の部	資産の部合計	238,050	236,150	246,902
	流動資産	15,802	13,552	14,550
	現金預金	8,744	6,169	6,176
	未収金	2	27	109
	有価証券			
	その他流動資産	7,056	7,356	8,265
	固定資産	222,248	222,598	232,352
	基本財産	198,446	198,464	201,724
	特定資産	22,047	20,915	26,258
	その他固定資産	1,755	3,219	4,370
	有形固定資産	1,362	2,836	4,340
	無形固定資産	363	353	30
	その他投資等	30	30	
負債の部	負債の部合計	4,606	5,523	7,131
	流動負債	1,160	1,559	2,578
	短期借入金			
	その他流動負債	1,160	1,559	2,578
	固定負債	3,446	3,964	4,553
	長期借入金			
その他固定負債	3,446	3,964	4,553	
正味財産の部	正味財産の部合計	233,444	230,628	239,771
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	198,447	198,465	201,725
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	198,446	198,465	201,725
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	34,997	32,163	38,046
	代替基金			
その他一般正味財産	34,997	32,163	38,046	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	22,046	20,915	26,257	
負債の部及び正味財産の部合計	238,050	236,151	246,902	

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
市財政支出等の合計	31,959	32,212	34,758
補助金		0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金	80	80	80
交付金			
委託料	31,879	32,132	34,678
内 随意契約額※	31,879	32,132	34,678
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

--

## (4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
純資産	233,444	230,628	239,771
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拠出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	233,444	230,628	239,771



## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
経常損益		2,308 千円	▲ 2,764 千円	▲ 784 千円
自己資本比率	純資産	98.1 %	97.7 %	97.1 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	1362.2 %	869.3 %	564.4 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	93.8 %	94.9 %	95.1 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産	31,744 千円	28,928 千円	38,071 千円
	－資本金（基本金）			
公益目的事業比率	公益目的事業費	－ %	76.2 %	81.3 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	－	0.14	0.14
	遊休財産額			
資金運用				
基本財産としての 有価証券の保有	● 有	→	① 運用方針を明文化し、それによって運用している。	○
	○ 無		② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。	○
			③ 資金運用に関する情報収集に努めている。	○
			④ 元本割れのリスクはない。	○

## （2）団体の自立性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	56.8 %	71.9 %	64.4 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## （3）経営の効率性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	9,749 千円	7,682 千円	7,896 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	462 千円	▲ 553 千円	▲ 157 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	10.5 %	9.9 %	5.8 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	1138 千円	941 千円	540 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	34.7 %	46.0 %	42.9 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔 會津八一記念館中期運営計画・原案策定中 〕 計画期間 平成 25～29 年度
概要・数値目標	
<p>現在計画策定中。普及活動としては①奈良および京都との歴史・文化・観光交流を拡大する②関西における定期交流の場＝「関西秋州会」（仮称）の設立③奈良県内の八一ゆかりの寺院長老との定期交流——など。また、当館の目標は年間入館者1万人、年間講演会数は12回以上、聴講者2000人以上を確保するなどの数値目標を掲げ、実現中。24年度から市内中学校、高校より関西修学旅行の事前学習のため講座依頼や寺院へのあっせん要請が舞い込んでおり、積極的に支援している。今後は中・高への修学旅行の内容充実と協力して行く方針。</p>	
	未策定理由

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成18 年度～ 依頼先職種〔 税理事務所 〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 24 年度～ 〔 年間日程表を整備し、各種事業・イベントに対応した広報・会場・ホテル・交通チケットの事前確保・予約の段取りを忘れずに進めることを目指している。 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 平成17 年度～ 〔 全国文学館協議会、北信越あるいは県博物館協会などの研修会に派遣。また冬季には、テーマ別に研修出張を実施している。 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 平成12 年度～ 規定名称 〔 公益財団法人會津八一記念館情報公開規定 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 21 年度～
	未整備理由 〔 役員は無報酬 〕		● 事業内容 21 年度～
			● 役員名簿 21 年度～
			● 役員報酬 年度～
			● 事業報告 21 年度～
			● 正味財産増減計算書 21 年度～
			● 貸借対照表 21 年度～
			● 事業計画書 21 年度～
			● 予算概要 21 年度～

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
「伝統の書、前衛の書、破格の書」をテーマにシンポジウムを開催（平成24年度実施へ向けた取組み）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	● 実施しない
前年度の改善・対応内容		京都承天閣美術館の「若沖・応挙の至宝」展を開催し、その関連で、冷泉家の伝統の書を借用する計画だったが、冷泉為人氏の講演会に代わり、当面は伝統の書の借用は見送りとなったため、実施は長期的に検討することになった。			
①	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等			
		実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	工程				

今後の取組み					
會津八一の大衆的浸透のため、八一を主人公にした物語の漫画出版					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	● 実施しない
前年度の改善・対応内容		漫画家の選定方法などで協議し、館内で意見が固まらず、先送り。			
②	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等			
		実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	工程				

今後の取組み					
今年、京都相国寺の承天閣美術館との交換展が行われる。館、そして市歴史博物館（みなとびあ）での新潟展開催（9月29日～11月25日）、さらには承天閣美術館での會津八一展を行う京都展開催（10月6日～12月2日）を行う。（市、新潟日報社、BSNによる実行委員会形式）					
改善・対応区分		● 改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		京都・相国寺承天閣美術館との交換展「若沖・応挙」展は、3万人を超える入場者を確保。また、京都における「最後の文人 會津八一」展でも、6,000人超が観覧し、普及と増収を図った。			
③	今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等			
		実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	工程				

今後の取組み						
會津八一の業績を顕彰し、紹介する事業（八一祭、館長講座など）の開催について、内容を精査・検討しながら引き続き行う。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		H24年度の「八一祭」は、奈良県との歴史文化交流協定を記念して開催した展覧会と連携し薬師寺貫主の山田法胤師を講師に招き講演会を実施。館長講座は、京都相国寺の承天閣美術館との交換展との関連事業として3回実施した。				
④	今後の改善・対応方針等	奈良に続き、京都相国寺との交換展実施により、京都と新潟の絆が強化されたことにより、「観光文化交流宣言」の調印に繋がったことから、今後も會津八一の顕彰事業として実施していきたい。特に會津八一の歌を写す写真コンテストの入賞作品展を奈良県立図書情報館、京都では承天閣美術館でそれぞれ巡回展を実施している。				
		実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	工程	八一祭, 館長講座	継続開催予定			
		写真コンテスト	奈良, 京都において巡回展の実施			

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み						
後継者の育成・増員を進める必要がある。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		学芸員の育成では、出前授業、県内各地からの講演依頼に積極的に出演を勧めており、またメディアへの露出にも努め、成長を促している。増員は予算次第なので先送り。 写真映像をふんだんに使った親しみやすい講演等を工夫する。増員の予算を検討してほしい。				
④	今後の改善・対応方針等	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		工程				
	工程					

今後の取組み						
引き続き會津八一の業績を顕彰するため、各取組みについて、内容の検証と継続的展開が望まれる。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況④のとおり				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況④のとおり			
	工程	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度

今後の取組み						
中長期計画の策定にあたっては、市が策定した新潟市文化創造都市ビジョンの方向性に沿ったものとされたい。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		創造都市ビジョンを熟読し、他県の長期計画を参照して、長期計画作成の意義など文案を作成中。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		課題の列挙と具体的対応案について、館内職員と協議することから始める予定。			
	工程	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		①長期計画作成の意義	概要の仕上げ			

## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>	基本財産の売却益で、今後のイベント活動の資金に多少の余裕を確立した。在庫の複製品および茶碗の販売を促進し、在庫の圧縮を図りたい。
<b>団体の自立性</b>	大きな展覧会は新潟市、新潟日報社、新潟放送との共催で実施してきたが、展示の内容、講座などは財団独自で進めている。
<b>経営の効率性・適正性</b>	先人の文化的業績に対する関心がそれほど高い状況にないが、非常勤の館長が講演・講座を10回以上、2人の学芸員は出前講座を10回以上こなしており、その上、年間4回の展示を実施している。事務長は公益法人の事務・法務局登録更新作業やイベントの企画と運営・交渉を進めており、事務員一人は受付および経理・販売・在庫管理を担っている。わずか4人でこれ以上の経営効率はない。これ以上を求めることは、公休も満足に取れないなど労働者の諸権利を奪い、不適正を招くのみである。
<b>その他</b>	
<b>総括的な所見</b>	
少ない人数で、新潟市と奈良県、また新潟市と京都市各々の交流協定を締結する先導役を担ってきた。このような活動をわずか4人で日々展開している博物館は全国的にほとんどないと自負しております。この実績をさらに充実し、継続できるように作業の効率化、後継者の育成など基盤づくりに傾注したい。	

## 【所管課による評価】

<b>現状に対する評価</b>	24年度の開催した記念館及び京都相国寺の承天閣美術館の双方が所蔵する作品交換展は、30,000人を超す入場者を動員する成果となり、新潟と京都の絆が深められた結果、H25年3月に京都と観光文化交流協定の締結に至ったことには、大いに評価できる。
<b>課題及び改善すべき事柄</b>	経年劣化していた施設を移転整備することになったことから、八一の業績を顕彰する事業及び施設として、全国的に情報発信に努めるとともに、知名度の向上と誘客に繋がる事業展開を図っていただきたい。
<b>今後の指導方針</b>	移転後の八一の業績を顕彰する事業を計画的に展開するとともに、新しく開館した「にいがた文化の記憶館」と連携しながら、より一層、県内外からの幅広い誘客に繋がる事業実施を期待する。

## 【今後の取組み】

①	秋の特別展で、過去2回開催し好評を博した「街の中の會津八一」を県外編として開催（10月5日～12月1日）。東京都内の菓子店・古書店・寺院等が所蔵する八一作品とその繋がりを紹介する。
②	法隆寺への歌碑建立および新潟・古町での會津八一碑（浅川園へ贈った平家物語の1節の碑）を建立を実現したい。
③	會津八一の業績を顕彰し、紹介する事業（八一祭、館長講座など）の開催について、内容を精査・検討しながら引き続き行う。
④	